

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	文章が読みやすく、程度が本校生徒の実態に即している。教科の目的を達成するよう、適切な工夫がなされている。
	地理歴史	教科の目的を達成するよう適切な工夫がなされており、継続性もあるので改訂版を使用する。
	公民	教科の目的を達成するよう適切な工夫がなされており、継続性もあるので改訂版を使用する。
	数学	内容が本校生徒の実態に即している。記載されている表・グラフなども多く、読みやすい。
	理科	文章が読みやすく、程度が本校生徒の実態に即している。記載されている表・図に関してもわかりやすい。
	保健体育	生徒にとって読みやすい。配列や関連づけも適切で分量もよい。
	芸術	分量が適切である。本校生徒の実態に即している。
	外国語	掲載されている文章が読みやすく、本校生徒の実態に即している。テーマも生徒の興味を引く内容となっている。
	家庭	図や表などが見やすくわかりやすい。分量に関しても本校生徒の実態に即している。
	情報	情報の科学を情報技術基礎で代替 2 単位
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	内容が系統的であり、配列や関連づけも適切で分量もよい。本校生徒の目標に適合している。
	商業	
	水産	
	家庭	
	看護	
	情報	
	福祉	